

1月31日
失敗さえも用いられる神
ローマ3章5～8節

3:5 しかし、もし私たちの不義が神の義を明らかにするとしたら、どうなるでしょうか。人間的な言い方をしますが、怒りを下す神は不正な
のでしょうか。

3:6 絶対にそんなことはありません。もしそうだとしたら、神はいったいどのように世をさばかれる
のでしょうか。

3:7 でも、私の偽りにによって、神の真理がますます明らかにされて神の栄光となるのであれば、なぜ私がお罪人としてさばかれるのでしょうか。

3:8 「善を現わすために、悪をしようではないか。」と言っははいけないのでしょうか。・・私たちはこの点でそしられるのです。ある人たちは、それが私たちのことばだと言っていますが、・・もちろんこのように論じる者どもは当然罪に定められるのです。

日本ミッションという団体が
「よろこびの泉」

という新聞を発行されています。

全国のクリスチャンの証しを掲載しています。

昨年9月に私の救いの証しが
よろこびの泉に

掲載されました。

722人目です。

私がどうしてクリスチャンになったのかを
わかりやすく記述しています。

高校生の時、
教会の伝道集会に出席しました。

説教を聞いているうちに、
自分が犯してきた
過去の罪が心にあらわになって
浮かんで
きました。

私の4つの罪
母親の財布からの盗み、
電車のキセル乗車、
本屋での万引き、
本屋でいかがわし本の立ち読み

この罪の苦しみの中から、
救われたいので
イエス様を信じました。
そして罪赦され、救われて、
天国の国籍が与えられて、
地上の人生が終わると
素晴らしい天国が待っています。
クリスチャンになって50年余りの人生、
神様に守られて
とても幸せに暮らしています。

私は自分の不義、偽り、罪を、不正を
知ることによって、
イエス様の救いが分かり、
受け入れ、救われました。
罪人を救い生まれ変わらせる
神様の素晴らしさを体験しました。

人は質問します。

人はまじめに生きて罪を犯していなかったら、
罪意識で苦しむことはない。

イエス様を信じるため、
イエス様の救いが分かるためには
真面目に生きるよりも
罪を犯した方がいいですか。
罪を犯すことも救われるためには
必要なことですか。
人間的には難しい論理です。

ユダがイエス様を裏切ったので
イエス様はローマ人の手に渡され
十字架に着かれた。

イエス様が十字架について私たちに
救うためにはユダの裏切りは必要だった、
ユダは私たちの救いに貢献をした。

なのになぜユダは裏切り者と
いわれるのですか。

これも人間的には難しい論理です。

パウロはクリスチャンになる前はユダヤ教徒として激しくキリスト教を迫害していた。激しい迫害の中でダマスコ途上で復活のイエス様に出会って劇的な回心をして、その後熱心な伝道者になった。私も熱心になるためにはこのような迫害者にならなければなりませんか。

私の熱心さが足りないのはクリスチャンになる前、まじめな生活をしていたからですか。もっと罪の人生を歩んでいた方がよかったですか。

今日のローマ3章5～8節はこのような
議論の個所でタイトルのつけるのが
むつかしいところです。

「失敗さえも用いられる神」と題をつけました。

加藤恒昭先生はこの個所を

「屁理屈を捨てて」

という題をつけて説教をされました。

先生自身いささか下品な言葉と
言われています。

世の中には屁理屈に見えることや
不条理といわれることなど
わからないことがたくさんあります。
不可解なことが救われるために
用いられるケースが多くあります。
このような屁理屈や不条理はどうしたら
理解できるのか、受け止められるのか。

この質問に助けとなるのが
ヨハネ3章1～6節
ニコデモの質問と
イエス様のお答えにあります。

3:1 さて、パリサイ人の中にニコデモという人がいた。
ユダヤ人の指導者であった。

3:2 この人が、夜、イエスのもとに来て言った。「先生。私たちは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。神がともにおられるのでなければ、あなたがなされるこのようなしるしは、だれも行なうことができません。」

3:3 イエスは答えて言われた。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」

3:4 ニコデモは言った。

「人は、老年になっていて、どのようにして
生まれることができるのですか。

もう一度、母の胎にはいって
生まれることができますでしょうか。」

3:5 イエスは答えられた。

「まことに、まことに、あなたに告げます。
人は、水と御霊によって生まれなければ、
神の国にはいることができません。

3:6 肉によって生まれた者は肉です。
御霊によって生まれた者は霊です。

ニコデモは学者、ユダヤの国の議員、
人として持てるもの、財産、身分、知識を
豊かにもっている人。

人間としての学識、論理、思考、哲学を
豊かに持っている人。

しかし神様の世界、神様の不思議な
世界が理解できない。

どうしたら理解ができるのか。

こんな質問に来ました。

人間の論理で理解できない世界が
いっぱいある。
どうしたらわかるのか
を知ろうとしていた。

イエス様の答え。
新しく生まれること、
イエス様を信じて
神様の子として生まれることがなければ
神様の世界はわからない。
人として生まれて人としての教育を
受けただけでは人の世界はわかってても
神様の世界はわからない。

水と御霊によって生まれなければ
神様の世界、神様のなさることは理解できない。

水は洗礼を表しています。

洗礼は一度水の中に沈みます。
一度死んでしまう。過去の自分の埋葬です。

御霊によって生まれるとは
イエス様の力、イエス様の霊の力によって
新しく生まれる、新しい人生を歩むこと。
その時、屁理屈、不条理、なぜと思える
神様のパズルが分かるようになります。

人間には不条理と見える神様の世界を
ニコデモは人間の能力、知識、学問で
追及して迷路に入っていました。

ニコデモも一匹の迷える羊でした。

イエス様と出会って、新しく生まれ変わって
神様の子とされて

人間の世界を超える神様の世界を
知るようになっていきました。

ローマ書3章5節

「人間的な言い方(考え方)」

と書いてあります。

その人間的な言い方に縛られては
神様の世界はわからないことです。

ニコデモはイエス様と出会い、

さらに十字架と復活を通して

人間的な価値、論理を超える

神様の豊かな世界に生きるようになりました。

1月29日金曜日の朝、「おはよう日本」
というNHKの全国ニュースで
館悦子さんを題材とした
「えっこさんとムラサキ公園」という絵本と
悦子さんが紹介されました。

悦子さんは8年ほど前にALSという難病にかから
れ、学校の先生をやめ、今は人工呼吸器をつけ
て、話すことが出来ないので、瞬きでパソコンに
入力をして話しておられます。話せなくてもパソコ
ンで話せると前向きに生きておられます。

昨年おうみ発630やホット関西で
放送されたものが全国に放送されました。
ことばでクリスチャンですと言う
証しはありませんが
あの素晴らしい笑顔は
誰でもできるものではありません。
全国に素晴らしい証し、生きる意味を教え、
苦難の方への希望のメッセージの発信です。

人間的には不可能に思われる
笑顔、平安です。

なぜあのような平安、笑顔があるのですか。

人間の能力、努力、修行では
不可能な世界です。

生まれ変わった人に与えられる
神様の不思議な力で生きておられます。
素晴らしい証しです。

ではこのような証しをするために
神様は悦子さんを

この病気にされたのでしょうか。

それなら神様は残酷ではないでしょうか、
という人間的な疑問が出てきます。

これは人間の世界の論理、言い方です。

渦中にいる本人は

この病、この人生を神様の恵みによって
受け入れておられます。

人間の論理の世界から神様の論理の世界に生き
ておられます。

ローマ書3章5～8節の
この謎、人間の論理、屁理屈を解く
もう一つのキーワードは
「明らかになる」(5節、7節)
という言葉です。

なぜ私は生きているのか。
なぜ苦難の道にいるのか。
なぜこのような試練が与えられたのか。
どうしたらこの苦しみから解放されるのか。
どうしたら救われるのか。

神様と交わる時、神様を礼拝する時、
神様から光が与えられ、
明らかにされて行きます。

霊によって、聖霊の恵みによって
謎が解け、今の自分を理解して、
受け入れることができます。

神様の霊が心に働いて苦難の意味を
明らかにしてください。

星野富弘さんの誌

私は傷を持っている。
でもその傷のところから
あなたのやさしさが
しみてくる。

礼拝を通して、祈りを通して、
神様のことば、聖書を通して
生きる意味、苦難の意味を教えられ、
自分を受け入れ、過去の自分も受容して
自分を喜んで、自分でしかできない人生を
確信をもって生きることができます。
神様はあなたしかできない人生を
喜んで生きることを期待しておられます。

祈り

主イエス様、この地上には不可解なこと、また不条理なことに満ちています。人間の叡智で計り知れないことがあります。自分のことさえわからない日々を送っていました。神様のことは、御霊の働きでそれらの中にあっても平安に生けるようにしていただき、この人生を確信をもって生けるようにして下さったことを感謝します。多くの悩める方、苦難の中にある方に神様の光が届けられて苦難の中でも喜びを見出され、自分の人生を歩まれるように、主の名によってお祈りします。アーメン。